

サービス担当者会議の要点

作成年月日 令和6年9月20日

利用者名 鳩山 太郎 様
開催日 令和 6 年 9 月 10 日

居宅サービス計画作成者(担当者)氏名 居宅 花子
開催場所 自宅 開催時間 13:00～14:00 開催回数 1

会議出席者	所 属(職種)	氏 名	所 属(職種)	氏 名	所 属(職種)	氏 名
	本人	鳩山 太郎 様	鳩山病院(欠席照会)	赤沼医師	大豆戸事業所 介護支援専門員	居宅 花子
	妻	鳩山 花子 様	鳩山事業所 福祉用具専門相談員	福祉 介護 氏		
検討した項目	特殊寝台及び付属品の必要性について			①医師の医学的な所見(確認日時と方法《訪問・電話》、医師名、病院名、診断名等に起因する状態像) ②本人・家族の意向(例外給付について、本人及び家族に説明し、同意を得ている旨も必ず記載してください。) ③福祉用具専門相談員の意見 ④担当介護支援専門の意見等を検討内容に記載します。		
検討内容	①医師の医学的な所見 【9月1日 鳩山病院 赤沼医師に電話で意見を聴取した】 主治医の所見として、9月1日、鳩山病院の赤沼医師に電話照会にて照会を行った。 鳩山氏は末期の胃がんで今後急激に状態悪化によって、短期間で起き上がりが困難な状態に至ることが見込まれるため、福祉用具の例外給付の対象となる状態像(ii)に該当する意見をいただいた。 ②本人及び家族の意向 本人は在宅で、できる限り自力で起き上がりをしたいとの意向。家族も本人の意向に同意。 ③福祉用具専門相談員の意見 今後、状態の悪化により、起き上がりが困難になっていくことから、導入する特殊寝台については、背上げ角度等に調整機能が付いたもの(ギャッチベッド)がよいと思う。 ④担当介護支援専門員の意見 鳩山氏については、現在、要介護Ⅰの認定を受けており、介護保険適用のベッドをレンタルするには、軽度者申請等が必要と思われる。					
結論	今後、胃がんの進行により起き上がり等が困難になっていくため、ギャッチアップベッドの導入が必要であるため、町に軽度者申請を行う。					

残された課題

特殊寝台導入後の効果等について、十分に検証を行う。

(次回の開催時期)

現在の認定期間が来年の3月31日までのため、時期が来たら再度必要性を検討する。